

問6.映画「痛くない死に方」はいかがでしたか？理由・感想一覧

|                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・ 先生が最初の患者さんでの経験を生かしてから立派な在宅医療医師なるまでの生きざまがすばらしかった。                                               |
| ・ 在宅医療の重要性と関わっている全ての人も皆人間であることを改めて認識できた。                                                         |
| ・ 医者に見てもらいたい内容でした。                                                                               |
| ・ 「人」に向き合うことの大切さを学んだ。                                                                            |
| ・ 一般の方に延命治療によるside effectを理解してもらった良い機会になったと思います。厳しすぎて治療できることも拒否しつつ、医療者はきちんとした説明をするのが必要。          |
| ・ 学びになりました。今後の仕事の姿勢にとても活かせると思います。                                                                |
| ・ いろいろ思う所がありました。Faの話も聞きつつ、他との連携も必要と思いました。                                                        |
| ・ 映画を観たことで、一般の方がもっと人生会議や未来ノートに興味を示して下さるようになることがまず第一かなと思いました。                                     |
| ・ 現在の医療の実態がそのままリアルに語られていました。受け止めて仕事にそして自分の生に生かしたいと思いました。                                         |
| ・ 枯れるように死にたい。                                                                                    |
| ・ 死に方を選ぶ？受け止める「力」を持てるか。                                                                          |
| ・ 在宅看取りについて多くの人に知ってもらえる映画だと思います。                                                                 |
| ・ 自分が在宅に関わっているため勉強になりました。患者さんとの関わり方を学んだ気がする、改めて。                                                 |
| ・ 在宅看取りについて考えることができた。                                                                            |
| ・ 在宅医療で終末期の患者さんに関わることで、患者さんとの関わり方について考える良い機会となりました。患者さんの人生の物語を把握することが寄り添って手助けする一歩であると感じました。      |
| ・ 「人を好きになれ」という言葉が良かったです。人相手の仕事全てに通じる言葉ですネ。                                                       |
| ・ ケアマネとして看取りについて考えさせられた。とても学びになったと思う。                                                            |
| ・ 色々な終末期があると実感。医者を選びたいと思いました。                                                                    |
| ・ リアルに見ることができました。在宅医の先生、それに関わるチームの質向上（意識感覚）を目指していければ良いですね。                                       |
| ・ 「その人を知る」ということが大切なのは介護も在宅医療も同じだと実感した。                                                           |
| ・ 主人を亡くしているの共感出るところがあった。                                                                         |
| ・ 日頃、看取りにかかわる機会もあり、いろいろと勉強になりました。映画、感動しました。ありがとうございました。                                          |
| ・ 人生の最期をどうむかえるのか、診断名だけでなく、その人らしく過ごせるよう支援している人達がいることを知れたから。                                       |
| ・ Dr目線で在宅医療を通し、様々な人生観、看取り・Fa、本人の思いを仮想できました。                                                      |
| ・ 在宅での看取りのイメージがわいた。患者本人や家族との向き合い方がなんとなくだが、こうしていきたいというのがわかった気がした。                                 |
| ・ 在宅での看取りについて深く学ぶことができた。また、治療だけを目的とせず、患者一人一人が尊厳を持って最期を迎えられるような声掛けも大切であると知ることができた。                |
| ・ 痛くなくは自然に枯れていくこと、救急車を呼べば延命になってしまう。わかっていても、いざとなると我慢できるかはわからない。                                   |
| ・ 私達も看取りに携わることがあるのでとても勉強になりました。                                                                  |
| ・ 良い在宅看取りとはのテーマで今後に活かしていきたいと思った。                                                                 |
| ・ 在宅での看取りで医療と介護の例、家族のつながりがわかりました。                                                                |
| ・ 自宅での看取りは大変だと思いました。自分は良いけど家族は大変。                                                                |
| ・ 看取りの現実がリアルだった。                                                                                 |
| ・ 標準治療を拒否した在宅患者は、病院で救急搬送受け入れできない事を初めて知りました。                                                      |
| ・ リビングウィル、勉強になりました。死をもかえるにあたり、選択肢がそれぞれにあったものがあって良いこと勉強になります。                                     |
| ・ 在宅医療の良さ、問題、当事者の葛藤などがこの映画の中に上手く表現されていたと思います。暗い話題もユーモアにあふれていました。                                 |
| ・ 在宅生活の在り方はその人それぞれの思いが詰まっているため型にはまらないケアも時には必要だと感じた。                                              |
| ・ 在宅看取りのむずかしいさきちゃんと伝わったので。                                                                       |
| ・ 病院での治療も在宅での療養も患者さんが選べるのが大切だと思った。自分の身内の時に改めて改めて考えさせられる良い映画でした。                                  |
| ・ 母が亡くなった時のことを思い出しました。こんな在宅の先生だったら良かったなと思いました。悲しいだけでなく、くすっと笑える場面もあり、面白かったです。                     |
| ・ 穏やかに最期を迎えている。本人の意見を聞き入れて受容してくれている。                                                             |
| ・ 在宅医の気持ちの変化がわかりやすかったため。                                                                         |
| ・ 在宅医療と介護の連携の大切さを学びました。                                                                          |
| ・ 映画のような最期に関われたらと感動しました。                                                                         |
| ・ 内容は専門職としてすぐ身近に感じられ良かった。本人、家族、Dr.などお互いの思いも分かった。音響が小さく聞きづらい、字幕が見えづらい。                            |
| ・ 専門職としてその人の物語を知ったうえで看取り介護を行っていかたいと思った。                                                          |
| ・ 寄り添うということも教えていただきました。                                                                          |
| ・ 「カルテじゃなく患者を診ろ」という言葉が印象的でした。事前情報にとらわれることなく、利用者さんに関わることが大切だと感じました。                               |
| ・ 字幕見えなかった。聞こえにくいのが大半だった。訪看として看取り（在宅）経験があるので映画は違和感が大きい。                                          |
| ・ 音が小さくて聞きづらい所がありました。在宅医療の良さを存分に理解できる内容で大変良かったです。                                                |
| ・ 家で死ねたらいいですね。                                                                                   |
| ・ 最近、私の担当のお客様がなくなり、先生方の変遷がとても共感できました。                                                            |
| ・ なるべく痛みを取り、その人らしい最期を迎えられることが一番だと思います。その時を迎えるまでの経過（どういふような状態になるか）を家族へ詳しく説明することが大事なのだと思います。       |
| ・ 本人の治療、診療のみではなく支える家族への伝え方とても参考になった。家族のいない人が増えている中、どのように本人の尊厳を守っていくか課題に感じています。                   |
| ・ 実際の在宅での看取りに至るまでがリアルでした。医療者も病院を出た後の在宅での過ごし方、亡くなるまでは触れる機会がないので、とても勉強になると思います。音量もう少し大きくても良いと思います。 |
| ・ 最近、看取りをお手伝いしたばかりなのですが、家族・在宅医療・その他専門職のチーム連携で、住み慣れた家で最後まで生きられるお手伝いができてよかったです。「人を好きになれ」素敵な言葉でした。  |
| ・ 在宅での平穏な死について、学べました。医師が病気だけではなく患者さんや家族に向き合う姿が印象的でした。2F席は音声聞き取りづらい部分が多かったです。                     |
| ・ 講義で話してみようと思う。                                                                                  |
| ・ 全て理解は難しいですが、当事者の想い、尊厳が大切なことを再認識できました。                                                          |
| ・ 知らないことが多かった。向き合い方。                                                                             |
| ・ 生きることは食べること、看取りとはその人の物語を知ることからはじまる、この言葉に共感しました。                                                |

問7.今回ご紹介した「わたしの未来ノート」に記入してみたいと思いましたか？理由

|                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・ 1.自分の人生を考えたいから。                                                                                |
| ・ 1.尊厳死協会の会員になっているので、同様の記載としてみる。                                                                 |
| ・ 1.全てのページに書かなくてもよく、自分の伝えたいところのみでも記載すればよいところ。                                                    |
| ・ 記入しています。                                                                                       |
| ・ 1.終活について考えたいと思ったから。                                                                            |
| ・ 1.自分が記入して自分に向き合うことで利用者さんにもお話できるかと思います。                                                         |
| ・ 1.自分の死後の片づけについて、娘や夫に負担にならないよう残しておきたいと思っている。（別にノートがあるが忙しく書けない状況です。）                             |
| ・ 1.自分の意思を家族に伝えられる手段であると思うから。                                                                    |
| ・ 1.一度きりでなく、その都度考えていきたい。家族と一緒に。                                                                  |
| ・ 1.自分がどうゆう死に方をしたいのか、きちんと考えたいと感じたため。                                                             |
| ・ 1.突然亡くなった時、残されたものが困ることが少ないようにしていきたい。                                                           |
| ・ 1.利用者さんと現在活用させていただいてます。                                                                        |
| ・ 1.自分の意思がしっかり伝えられるかと思いました。                                                                      |
| ・ 1.記入しています。                                                                                     |
| ・ 1.この映画を観て自分の最期、そして家族の最期をやはり見つめ直したいと思いました。ありがとうございました。                                          |
| ・ 1.自分の想いを家族に伝えておきたいと感じた。                                                                        |
| ・ 1.自分だけではなく周りの人に勧めたい。                                                                           |
| ・ 3.高齢になってから考える。                                                                                 |
| ・ 1.書いてみます。                                                                                      |
| ・ 1.まだ早いと思う。持病がないので。                                                                             |
| ・ 1.自分が医療や介護が必要になった時にやってほしいことや医療処置でやってほしくないことを具体的に前もって家族に伝えておく必要があると思ったから。言葉が話せなくなってからでは遅いと思います。 |
| ・ 1.いろいろ整理するのに必要と思います。                                                                           |
| ・ 1.近い将来子供たちに伝えておきたいと思ったから。                                                                      |
| ・ 1.以前から記入したいと思っていましたが、なかなかできませんでした。今、自分自身の気持ちや意向を振り返るきっかけになると思うので実行してみたいと思います。                  |
| ・ 1.現時点で思うことから記入して、時間の経過とともに更新していければと思います。                                                       |
| ・ 1.家族のため。                                                                                       |

問8.今後の研修会のテーマ

|                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------|
| ・ ケアマネジャーさんの仕事内容、介護認定を受けるまでの流れとケアマネジャーとの結びつきの流れ。（どのように紹介されるのか）          |
| ・ 看取りについての映画などは考えさせられる部分が多くあるため、またやってほしい。                               |
| ・ 映画を通して在宅医療・終末期・ACPなど考える企画は良いと思います。                                    |
| ・ 在宅にていつでも往診しているシステムがどのようになっているのか知りたい。郡山に限らず在宅での看取りがもっと気軽に受けることを願っています。 |
| ・ 看取りや病気に対する知識の勉強会。                                                     |
| ・ 認知症の困難ケースについて。受診拒否とか。                                                 |
| ・ まずは「わたしの未来ノート」をじっくり何年もかけて市民へ周知すべきだと思います。                              |
| ・ このような研修またやってください。                                                     |
| ・ とても良い企画をありがとうございました。                                                  |
| ・ 実際に市内で看取りをしている先生の話を知りたいです。                                            |
| ・ 看取り、わたしの未来ノート。                                                        |
| ・ 郡山市の医師・病院の在宅看取りの取り組み状況。                                               |
| ・ 在宅診療対象者と対象外の違いについて。在宅診療でできる処置とできない処置について。                             |
| ・ おまかせします。興味あるものをお願いします。                                                |
| ・ 身寄りのない方、家族と関わりが少ない孤立している方が多いため地域での支え方についても考える機会を設けてほしい。               |
| ・ 在宅医、病院医、訪看、病院Ns、MSW、CMなど、みんなで会える機会があるといいと思います。                        |
| ・ 緩和的鎮静について。                                                            |